

## 平成30年度 青森県校友会定時総会・学術講演会

### <定時総会>

平成30年6月16日（土）午後3時より、ホテル青森3F・はまなすの間において、青森県校友会定時総会・学術講演会が開催されました。

はじめに近藤麿史県校友会会長（65回）からの挨拶があり、その後、来賓の倉治康男校友会本部専務理事（62回）のご挨拶がありました。倉治専務理事からは、校友会会員の減少についてこれからどのように校友会を維持していくか等の報告がありました。



青森県校友会女性会員の皆さん

### <学術講演会>

「医療安全のコンピテンシー」という演題で藤井一維新潟生命歯学部部長（77回）に講演していただきました。コンピテンシーとは簡略すると、総合力を備えて対応していかなければならないということを目指します。学術的な知識技術はもちろんのこと、現

在の社会情勢にも精通しつつ患者との人間関係を通して、はじめて医療の安全を構築していけるということを学ばせていただきました。藤井歯学部部長の類いまれな話術にも魅了され、参加者は最後まで釘づけ状態でした。

現在、毎日の臨床の中でコンピテンシーを意識しながら診療を行っているところです。



平成30年度青森県校友会総会 平成30年6月16日 於 ホテル青森

### <懇親会>

恒例の懇親会は、大里宏治会員（55回）の乾杯の音頭で幕を開けました。青森の郷土料理「いちご煮」や「貝焼き味噌」、 「八甲田牛の石焼」など名物を堪能し、お酒を酌み交わしては語り合い、互いの親睦を深めました。締め挨拶は、藤井歯学部部長からお言葉をいただきました。

今年は、女性会員の参加が多く、華やかで盛大な懇親会となりました。その後は、青森市本町で二次会が用意され、楽しい宴となった夜でした。

（玉山元淳・86回記）